

D I S C L O S U R E

2015

足利ホールディングス

第8期 営業の中間ご報告

ミニディスクロージャー誌 2015年(27年9月期)

平成27年4月1日～平成27年9月30日

 足利ホールディングス

 足利銀行

企業理念

“企業理念”は、足利ホールディングスおよび足利銀行のすべての行動の原点となる考え方を示したもので、「存在意義」「経営姿勢」「行動規準」から構成されています。

わたくしたちは、この企業理念のもとで地域の総合金融機関として、地域社会とお客さまの信頼と期待にお応えできるようにつとめております。

存在意義

「豊かさの創造に寄与する」

足利銀行は、地域の総合金融機関として、地域社会のすべての人々の豊かさの創造に寄与しつづけます。

経営姿勢

「地域と共に生きる」

足利銀行は、お客さま本位の精神のもとに、地域と共に生きる開かれた銀行として積極的で健全な経営をすすめます。

行動規準

「誇りと喜びをもって行動する」

わたくしたちは、自らの使命・役割をよく理解し、たえず自分を磨き、高め、誇りと喜びのある行動によって、人々の期待と信頼に応えます。

プロフィール (平成27年9月末)

○ 足利ホールディングス

商号 … 株式会社足利ホールディングス

設立年月日 … 平成20年4月1日

資本金 … 1,174億9,555万円

本社所在地 … 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号
(足利銀行本店内)

○ 足利銀行

商号 … 株式会社足利銀行

創業 … 明治28年10月1日

資本金 … 1,350億円
足利ホールディングスの100%子会社

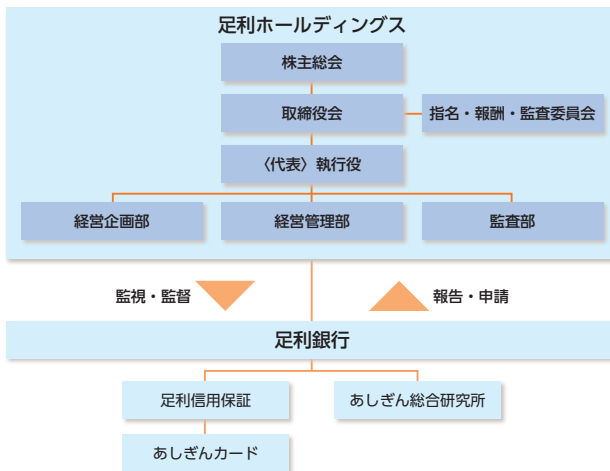
職員数 … 2,948名

本店 … 栃木県宇都宮市桜四丁目1番25号

◆ 足利銀行は明治28年10月に栃木県足利市で創業、その後、業容の拡大とともに、昭和42年2月に北関東の中核都市である宇都宮市に本店を移転いたしました。

経営体制

企画機能を統括する経営企画部、管理機能を統括する経営管理部、内部監査を統括する監査部を設置し、足利銀行の関連部門と密接に連携しながら経営の適正な管理・モニタリングを行っております。





株式会社足利ホールディングス
取締役兼代表執行役会長

藤澤 智



株式会社足利ホールディングス
取締役兼代表執行役社長
株式会社足利銀行
取締役兼代表執行役頭取

松下 正直

皆さまには、平素より足利ホールディングスならびに足利銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。また、足利銀行は、平成27年10月1日に創業120周年を迎えることができました。これもひとえに、お客さまならびに地域の皆さま、株主の皆さまのご愛顧、ご支援の賜物であり、あらためて感謝申し上げます。

さて、当中間期におけるわが国経済は、輸出や生産面において新興国経済の減速の影響が見られたものの、企業収益が改善するなかで設備投資が緩やかに増加したほか、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が底堅く推移したこと等により、緩やかな回復が続きました。栃木県経済におきましては、設備投資が底堅く推移したほか、住宅投資に持ち直しの兆しが見られる等、緩やかに回復しているものの、生産活動や個人消費の動きに弱さが見られました。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画『チャレンジ120～創業120年に向けた果敢なる挑戦～』の最終年度としてふさわしい成果を目指し、地域における円滑な金融仲介機能の発揮やお客さまのニーズに応じた金融サービスの提供に努めてまいりました。

法人分野におきましては、私募債やシンジケートローン、ABL等の手法を活用する等により、多様な資金調達ニーズに積極的に対応いたしました。また、足利銀行・常陽銀行・群馬銀行との共同による食と農の展示商談会「アグリフードフェスタ2015」を初めて開催したほか、事業承継・M&Aに関するご相談の対応や各種セミナー開催等により、お取引先企業へのコンサルティング機能の発揮に取り組みました。

個人分野におきましては、投資信託や保険商品の充実をはかったほか、住宅ローン・アパートローンの推進に注力いたしました。また、各種キャンペーンの実施により、預金や預り資産、無担保ローン、クレジットカードの推進にも取り組みました。

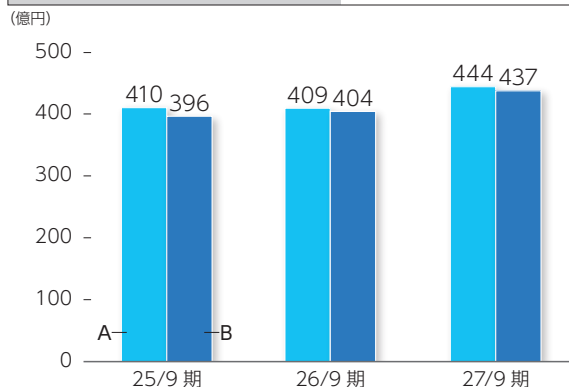
重要テーマの一つでもある地方創生に関しては、「地方創生推進プロジェクトチーム」の設置に加え、栃木県をはじめとする27地方公共団体の地方版総合戦略策定審議組織に参画する等、積極的に関わっております。

こうした取組みの結果、当社連結の親会社株主に帰属する中間純利益は、当初の業績予想（70億円）を上回る110億51百万円となり、通期の親会社株主に帰属する当期純利益についても、業績予想を170億円から210億円に上方修正いたしました。

なお、平成27年11月に、常陽銀行と経営統合の実現を目指すことについて基本合意いたしました。双方のお客さまから支持され、喜ばれる統合を、両者協力して目指してまいりたいと存じますので、皆さまにおかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

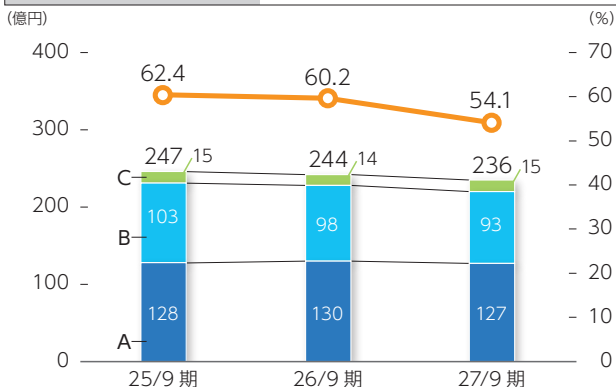
主要な計数指標 (足利銀行単体)

業務粗利益・コア業務粗利益



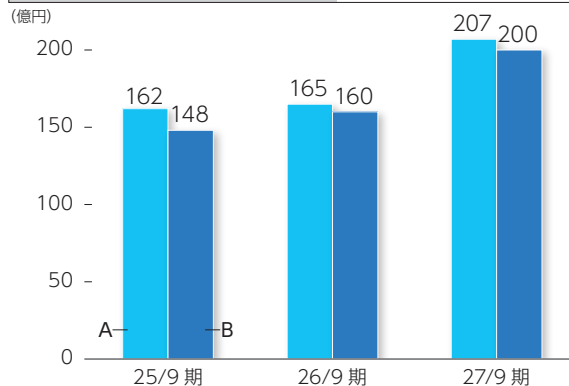
資金利益、役務取引等利益の増加により、業務粗利益は、前年同期比34億円増加
 国債等債券損益を除いたコア業務粗利益も、同比32億円増加

経費・コアOHR



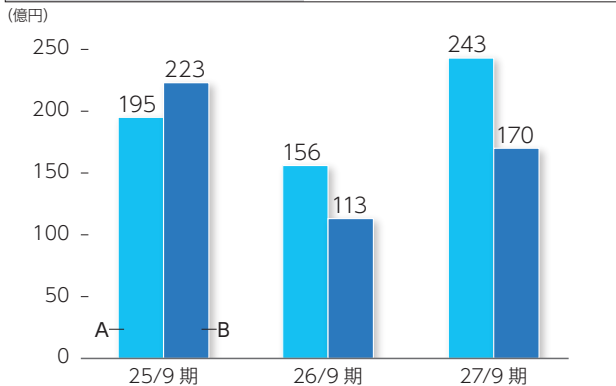
経費は、前年同期比7億円減少
 コア業務粗利益を分母とするコアOHRも、同比6.1ポイント低下

実質業務純益・コア業務純益



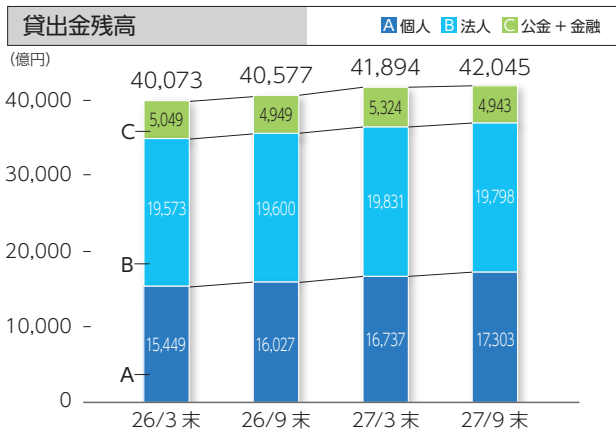
実質業務純益は、業務粗利益の増加、経費の減少等により前年同期比41億円増加
 国債等債券損益を除いたコア業務純益も200億円となり同比39億円増加

経常利益・中間純利益

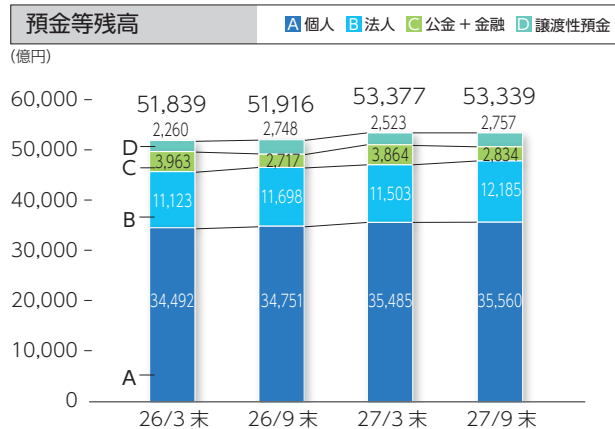


与信関係費用の減少や株式等損益の増加もあり、経常利益は前年同期比87億円、中間純利益は同比56億円、それぞれ増加

主要な計数指標（足利銀行単体）／自己資本比率

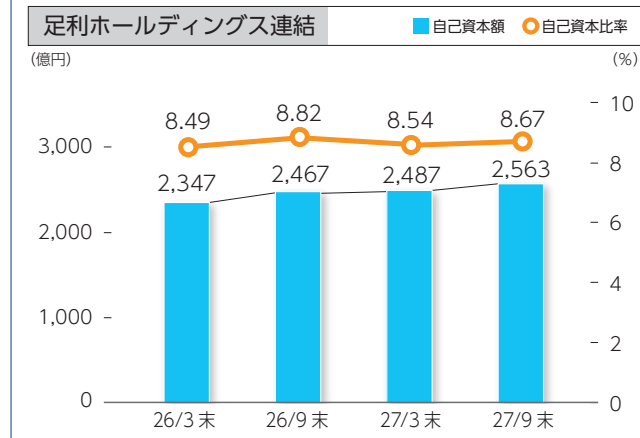


貸出金残高は、個人・中小企業向け貸出を中心として、26/9末比1,467億円増加

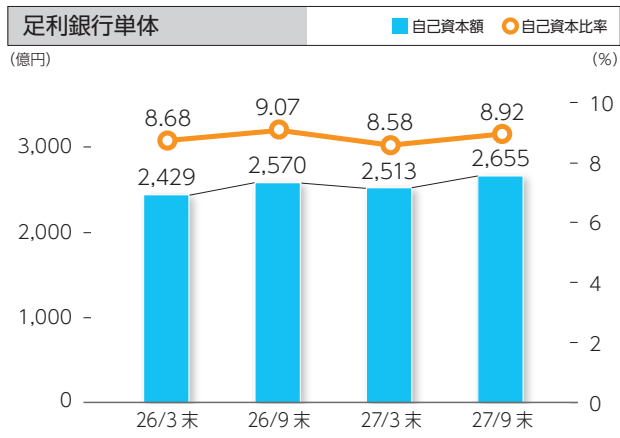


預金等残高（預金+譲渡性預金）は、個人・法人を中心として、26/9末比1,422億円増加

自己資本比率の推移



足利ホールディングス連結は、27/3末比0.13ポイント上昇の8.67%

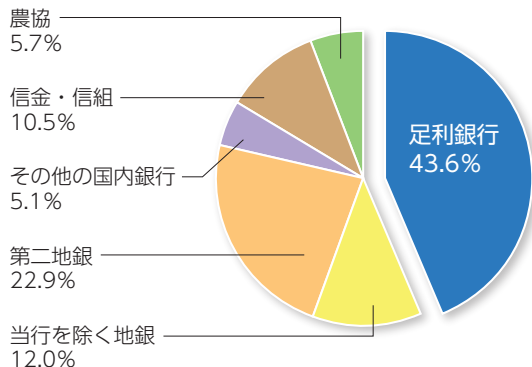


足利銀行単体は、27/3末比0.34ポイント上昇の8.92%

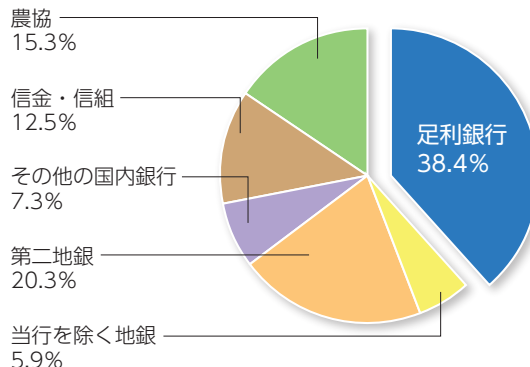
地域密着型金融への取組み

栃木県内シェア

貸出金 (27年3月)



預金 (27年3月)



※本計数の対象金融機関は、国内銀行（ゆうちょ銀行除く）、信用金庫、信用組合、農協です。（当行調べ）

貸出金残高、地域向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	25/9末	26/9末	27/9末
貸出金残高	38,895	40,577	42,045
地域向け貸出金残高	31,970	33,983	36,116
地域向け貸出金比率	82.2	83.7	85.9

中小企業等向け貸出金残高・比率、地域の中小企業等向け貸出金残高・比率

(億円、%)

	25/9末	26/9末	27/9末
中小企業等向け貸出金残高	27,407	29,274	31,215
中小企業等向け貸出金比率	70.4	72.1	74.2
地域の中小企業等向け貸出金残高	25,548	27,267	29,274
地域向け貸出金に対する地域の中小企業等向け貸出金比率	79.9	80.2	82.1

預金残高、地域の預金残高・比率

(億円、%)

	25/9末	26/9末	27/9末
預金残高	47,879	49,168	50,581
地域の預金残高	47,518	48,768	50,245
地域の預金残高比率	99.2	99.1	99.3

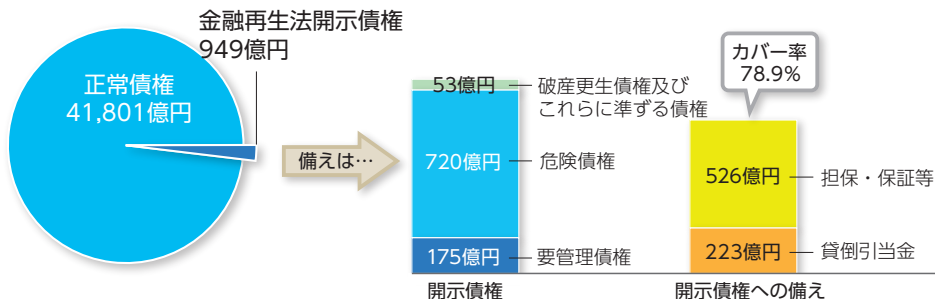
預り資産残高、地域の預り資産残高・比率

(億円、%)

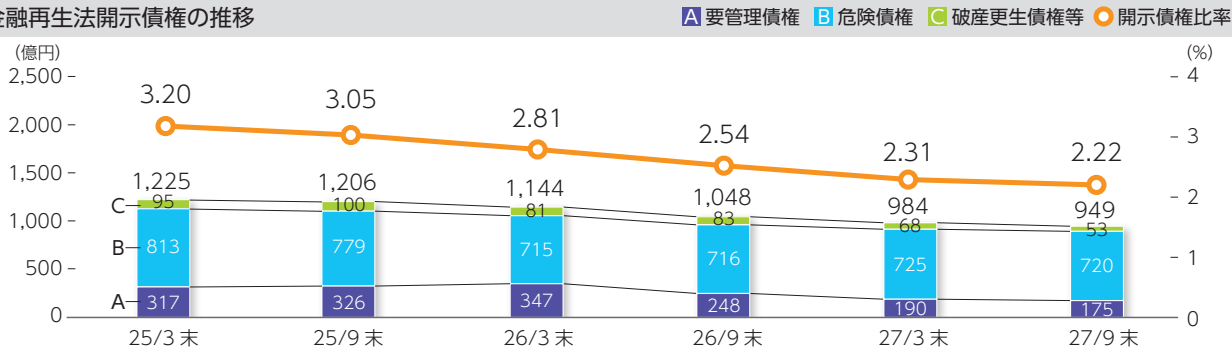
	25/9末	26/9末	27/9末
預り資産残高	7,421	7,594	7,296
地域の預り資産残高	7,413	7,585	7,261
地域の預り資産残高比率	99.8	99.8	99.5

※当行における「地域」とは、北関東を中心とした主要な営業地盤（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県）をさしております。

金融再生法に基づく開示債権の状況（27/9末）



金融再生法開示債権の推移



開示債権残高は、27/3末比34億円減少の949億円となりました。
開示債権比率は、同比0.09ポイント低下の2.22%となりました。

金融の円滑化に関する取組方針

足利銀行では、「中小企業者等に対する金融の円滑化に関する方針」に基づき、新規のお借入れおよびご返済条件の変更等のお客さまからの各種ご相談に、これまで同様に積極的に努めてまいります。

また、経営改善支援につきましても、お客さまの経営課題に対し適切な解決策をご提案してまいります。

〈中小企業者等に対する金融の円滑化に関する方針（抜粋）〉

「お客さまからの新規のお借入れおよびご返済条件の変更等のお申込みに対して、お客さまの要望を真摯にお伺いし、適切な対応を行うよう努めてまいります。」

金融円滑化に関するご相談窓口

苦情相談窓口

フリーダイヤル 0120-550-760

受付時間 平日 9:00～17:00

(銀行の休業日を除きます)

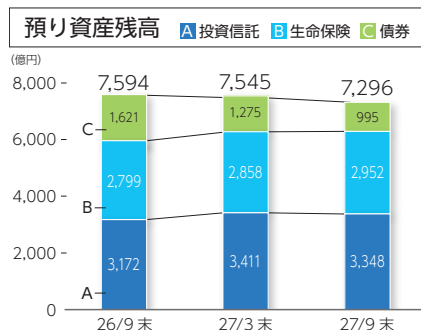
新規のお借入れおよびご返済条件の変更等をご希望のお客さまのご連絡先

お取引店の担当者までご連絡ください。

個人のお客さまへの取組み



スマイルデスク



○ スマイルデスク

多様化するお客さまのライフスタイルにあった資産形成のご相談にお応えするため、金融商品販売店舗に相談ブース《スマイルデスク》を設置し、専門スタッフが資産づくりのご相談をお受けしております。

※運用商品：投資信託84銘柄（27年9月末現在）、各種保険商品、国債、外貨預金等

○ ローンセンター

お客さまにいつでも安心して気軽にご来店いただき、ごゆっくりとご相談いただけるように、25か所のローンセンターを設置しております。一部を除き、多くのローンセンターで土日の営業を行い、ローン専門のスタッフが各種ローン商品の説明と資産計画・返済計画等のご相談をお受けしております。

○ 「GOODY (グッディ) カード」

GOODYカードは、「ICキャッシュカード」としても「クレジットカード」としてもご利用いただける便利なカードです。また、GOODYカードJCBは「地域優待カード (Regional Card)」として、加盟店（福田屋百貨店、たいらや、カンセキ、フライングガーデン）でさまざまな特典が受けられます。

法人のお客さまへの取組み

○ お取引先に対するコンサルティング機能の発揮

- ・ 27年上期は、地公体との提携による制度融資の活用等により、創業・新事業支援に関する融資を22件（106百万円）実行いたしました。
- ・ 補助金に関する相談会を開催し、情報を提供するとともに、申請方法のアドバイスを行っております。27年2月より受付が開始されました「ものづくり補助金」において、多くのお取引先の支援を行った結果、111先が採択となりました。
- ・ 10月、第2回「あしぎん新現役交流会」を開催いたしました。「新製品開発」や「販路拡大」等の経営課題を抱えるお取引先と抱負な知識・経験・ネットワークを持つ企業OBとのマッチングを行いました。



お客様の利便性への取組み

○ 店舗ネットワークの整備

- ・ 27年5月に東支店（栃木県足利市）、6月に行田支店（埼玉県行田市）を同一敷地内に建替えし、装い新たにオープン
- ・ 10月、つくば支店内に「つくばローンセンター」を開設

○ ATMサービスの拡充

26年10月に群馬銀行、27年1月に常陽銀行とのATM業務提携により、相互のATM利用による現金のお引出し、お振込みをする際の「他行ATM利用手数料（108円）」を無料化

○ 個人インターネットバンキングの新サービス移行

- ・ 27年5月より、個人インターネットバンキングを新サービスに移行し、見やすく、操作しやすい画面に一新
- ・ インターネットバンキングを普段と異なる環境で利用した場合等に出力される追加認証として、「秘密の質問・回答」機能を導入



東支店（建替え後）



群馬銀行・常陽銀行とのATM業務提携

地公体との連携

- ・ 地方創生施策の一環として、各地方公共団体が発行する「プレミアム付き商品券」の販売案内メッセージを当行ATM画面に表示し、販売促進のPRを実施
- ・ 各市町と連携し、定住促進に関する補助金等を利用する地域住民の方を対象とした「定住応援住宅ローン」の取扱い（連携：14市町）
- ・ 栃木県および26市町の地方版総合戦略策定審議組織に参画し、「地方人口ビジョン」および「地方版総合戦略」の策定支援に積極的に関与
- ・ 27年9月に足利市、11月に野木町と、地域経済の活性化や持続的発展および地域の雇用創出等に向けて相互に協力することを目的に、「企業立地等支援に関する連携協定」を締結



足利市との「企業立地等支援に関する連携協定」の締結

主な創業120周年記念事業

足利銀行は、平成27年10月1日に創業120周年を迎えることができました。これもひとえに、お客さま、地域の皆さまからのご支援の賜物であり、役職員一同心からお礼を申し上げます。これまでの皆さまのご支援に対する感謝の意を込めて「創業120周年記念事業」を実施しております。

マスコットキャラクター “パスカルファミリー”誕生

1992年の登場以来、当行のマスコットキャラクターとして愛されてきた「パスカル」をリニューアルし、ファミリーとして再登場しました。

また子どもたちの名前を一般募集し、「パル&パコ」に決定いたしました！



ありがとうを

12
anniv



「記念講演会」の開催

創業120周年を記念して、宇都宮と足利で講演会を開催し、約1,200名もお客さまにご来場いただきました。

2会場とも、『アベノミクスと地方創生』と題し、経済財政諮問会議 議員、東京大学大学院 教授伊藤元重氏にご講演いただきました。

その他創業120周年記念事業

- 栃木SC「あしぎん創業120周年記念スペシャルマッチ」
- 「創業120周年記念キャンペーン」“定期預金キャンペーン” “無担保ローンキャンペーン”
- 「お客さま感謝デー」の実施
- あしぎんの歴史をたどる「創業120周年記念ロビー展」の実施
- 創業120周年記念配当の実施
- スポーツフェスティバルの開催 等

チカラに変えて。



「あしぎん創業者懇談会」の開催

若手創業者の方々を対象として、有力企業経営者によるアドバイスやビジネスマッチングの機会を目的とした「創業者懇談会」を開催いたしました。



「あしぎんビジネスプラン・グランプリ」の開催

地域における革新的・創造的な優れたビジネスプランを表彰し、事業拡大に向けたサポートを行うことで、地域経済の活性化に取組み、地方創生の実現に向け貢献してまいります。

周年記念ロゴのコンセプト

足利銀行が120年続けてきた地域との協調、共生を重んじる姿勢を表しています。

コーポレートスローガン 「ありがとうをチカラに変えて。」

120年という長い道のりを支え続けていただいた地域の皆さまへの感謝の言葉と、この先も変わらず地域と共に歩んでいくという強い意志を掲げました。

女性職員の制服リニューアル

より一層お客さまに信頼され、頼りにされる銀行を目指して女性職員の制服を5年ぶりにリニューアルいたしました。

コーポレートカラーであるネイビーをベースにお客さまに優しさと親しみやすさを感じていただけるデザインとしています。また、クールビズ対策として、新たに夏用オーバーブラウスを採用しました。





共同記者会見

足利ホールディングスと常陽銀行は、平成27年11月2日開催の両社の取締役会において、経営統合の実現を目指すことについて基本合意することを決議いたしました。同日、両社の間で基本合意書を締結し、共同記者会見を行いました。

背景・経緯

営業地盤

- ・ 足利銀行、常陽銀行の主要営業地盤は首都圏に近接
- ・ 北関東道、圏央道、新幹線、つくばエクスプレス、茨城空港、茨城港など交通インフラの整備が進展

経営課題

- ・ 総人口減少、少子高齢化の進行など社会構造変化を受けた地域経済縮小懸念への対応
- ・ 競争の激化、金融サービスの広がり、経済のグローバル化への対応

<常陽銀行の強み>

- ・ グループ会社にリース・証券・シンクタンク・ITを持つ地域唯一のワンストップ金融機能
- ・ ものづくり企業に対する充実した支援体制
- ・ 都内大企業との取引接点が豊富
- ・ 厚い自己資本

など

<足利銀行の強み>

- ・ 自動車・航空機産業を含む裾野の広い顧客基盤
- ・ きめ細やかなコンサルティングによる営業力
- ・ 個人/法人向けフィービジネス
- ・ ローコスト・オペレーションの豊富なノウハウ

など

リーディングバンクとして地域に根付き、高いシェアを持つ足利銀行と常陽銀行が、地域の創生にこれまで以上に貢献し、お客さま、地域とともに成長し続けていくには、両行が共通の理念のもと、能動的に協創力を発揮し、豊かさの創造を実現していくことが有効かつ有益と判断しました。

経営統合の目的・基本理念

- 1 両行が長年にわたり築いてきたお客さまとのリレーション、地域への深い理解を維持・深化させながら、経営統合により形成される広域ネットワーク等を活かし、総合金融サービスの進化と業務効率化を実現します。
- 2 地域のリーディングバンク同士の融合でしかなしえない、より利便性が高く、質の高い総合金融サービスを提供します。
- 3 地域振興・創生のけん引役としての持続的成長と、株主・市場の期待に応える企業価値の向上をはかるとともに、役職員の活躍機会の拡大と職務への誇り・喜びを高めるなど、各ステークホルダーから高い評価が得られる金融グループを目指します。
- 4 目指す姿を共有できる他の地域金融機関にも開かれた金融グループとします。

営業地盤の特長と新グループの可能性

- 新グループが主要地盤とする2県合計（茨城・栃木）の経済規模は、埼玉、千葉に匹敵します。
- 新グループの拠点網は、全国有数の工場立地地域である北関東の製造拠点一帯をカバーします。
- 営業地域は、1次、2次、3次産業がバランス良く集積し、両県間・首都圏をつなぐ交通網の整備の進展もあり、産業間の連携・交流による新産業の創出が期待されます。

首都圏の他県と同等規模を有する営業地盤において、高いシェアを持つ金融グループの誕生

新グループは、地域への深い理解と実情に精通した金融グループとして、幅広い顧客層、多くの地元中核企業や公共セクターとの取引をもとに、広域かつ深い深度で地域振興・創生への貢献度を高めてまいります。

相乗効果（シナジー）

- 銀行業務（より便利で頼りになる銀行へ） ⇒ 地元中小企業への資金提供、ビジネスマッチングの促進、営業拠点網の拡大、商品の共同開発等
- リース・証券業務等 ⇒ 足利銀行と常陽リース・常陽証券との業務提携によるグループ総合金融機能の拡大等
- 経営の効率化 ⇒ 重複する本部機能等の統合、国内外拠点の相互利用等
- 人材相互交流によるノウハウの相互補完
・ 企業文化の統合

新グループの概要

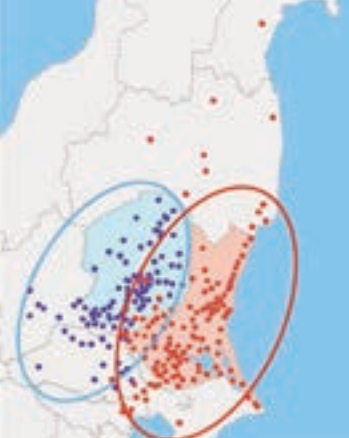
経営統合により、国内地方銀行トップクラスの新グループが誕生する予定

		常陽銀行	足利HD/足利銀行	新グループ (単純合算)
総資産	※1 (連結)	9兆654億円	5兆8,642億円	14兆9,296億円
純資産	※1 (連結)	6,018億円	2,871億円	8,889億円
預金残高	※1 (銀行単体)	7兆7,287億円	5兆853億円	12兆8,141億円
貸出金残高	※1 (銀行単体)	5兆6,564億円	4兆1,894億円	9兆8,458億円
有価証券残高	※1 (銀行単体)	2兆7,354億円	1兆2,368億円	3兆9,722億円
業務粗利益	※2 (銀行単体)	1,090億円	805億円	1,896億円
実質業務純益	※2 (銀行単体)	392億円	325億円	717億円
コア業務純益	※2 (銀行単体)	365億円	320億円	686億円
当期純利益	※2 (連結)	286億円	170億円	457億円
時価総額	※3	4,811億円	1,662億円	6,474億円
店舗数	※1 (出張所含む)	178か店	153か店	331か店
従業員数	※1 (連結)	3,687人	2,944人	6,631人
預貯金シェア	※4 (銀行単体)	茨城県内/33.9%	栃木県内/30.9%	両県合算/33.8%
貸出金シェア	※4 (銀行単体)	茨城県内/47.3%	栃木県内/40.7%	両県合算/47.6%

※1 平成27年3月末時点 ※2 平成26年度 ※3 平成27年9月末時点

※4 シェアは、農協・ゆうちょ銀行の残高を含むシェア (平成26年3月末時点) [出典：金融マップ2015年版] より一部加工

<常陽銀行、足利銀行の店舗 (平成27年3月末時点)>



	常陽銀行	足利銀行	合計
店舗数	178か店	153か店	331か店
茨城	144	8	152
栃木	8	112	120
埼玉	3	16	19
群馬	0	15	15
福島	10	1	11
千葉	6	0	6
東京	5	1	6
宮城	1	0	1
大阪	1	0	1

●足利銀行 ●常陽銀行

今後のスケジュール

平成27年11月2日	基本合意書締結
平成28年 4月 (予定)	経営統合に関する最終契約締結 (株式交換契約含む)
平成28年 6月 (予定)	足利ホールディングスおよび常陽銀行定時株主総会
平成28年10月1日 (予定)	株式交換効力発生日 (経営統合、新グループの誕生)

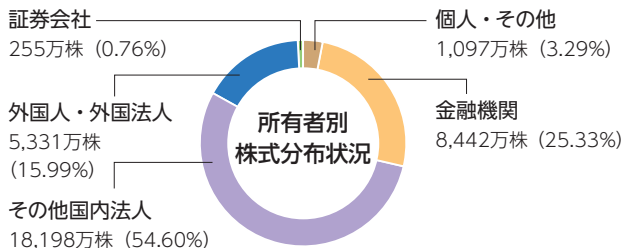
株式のご案内

株式の状況（平成27年9月末）

- 発行済株式の総数 333,250千株
- 株主数 7,543名
- 大株主状況（上位10位）

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
野村フィナンシャル・パートナーズ株式会社	122,900	36.87
オリックス株式会社	40,000	12.00
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	19,000	5.70
三井住友海上火災保険株式会社	15,000	4.50
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	10,135	3.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,036	2.41
JP MORGAN CHASE BANK 385632	7,156	2.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,152	2.14
ジャフコ・スーパーV3共有投資事業 有限責任組合	6,486	1.94
日本生命保険相互会社	5,000	1.50

(注) 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。



創業120周年記念配当について

創業120周年記念事業の一環として、株主の皆さまの日頃のご支援に対し感謝の意を表するため、平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）の中間配当（第2四半期末）において、1株当たり1円の記念配当を行います。これにより、平成28年3月期の中間配当（第2四半期末）は、普通配当4円50銭に記念配当1円を加え、1株当たり5円50銭となり、年間配当は10.0円となります。

株式のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度終了後3か月以内に開催します。
配当の基準日	期末配当金：3月31日 中間配当金：9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-782-031
公告方法	電子公告の方法により、下記ホームページに掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、下野新聞及び日本経済新聞に掲載します。 http://www.ashikaga-hd.co.jp/e-publication/

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031

	26/3期 実績	27/3期 実績	28/3期 予想
1株当たり年間配当額	4.0円	9.0円	10.0円
配当性向（連結）	5.7%	17.5%	15.8%

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

営業所のご案内 (足利銀行)

営業所の状況 (27年10月末現在)

	営業所数	店外ATM	ローンセンター
栃木県	112店 (うち出張所42)	185	15
群馬県	15店 ()	5	13
茨城県	8店 ()	2	3
埼玉県	16店 ()	1	1
東京都	1店 ()	-	-
福島県	1店 ()	-	-
合計	153店 ()	204	25

※振込専用支店 (1か店) を含む
 ※提携コンビニATM (セブン銀行ATM・イーネットATM)
 全国33,371か所 (27年10月末現在)

- (出) ……出張所
- (リ) ……リテールセンター
- (フ) ……あしぎんプラザ
- (ロ) ……ローンセンター



発行 / 平成27年12月

足利ホールディングス経営企画部

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25
 TEL028-622-8411 (代表) <http://www.ashikaga-hd.co.jp>

足利銀行広報室

〒320-8610 栃木県宇都宮市桜4-1-25
 TEL028-622-0111 (代表) <http://www.ashikagabank.co.jp>



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。